

平成 29 年度教頭部会研修会

平成 29 年 10 月 24 日（火）13：30～16：30 記録 静岡大成中学・高等学校 山田 隆司

演 題 私学における教頭・副校長のちから ― その役割と求められる資質 ―

講 師 開智未来中学校・高等学校 校長 関根 均 先生

講師略歴

埼玉県立高校着任後大学院で学び、埼玉県教育委員会の指導主事を経て、県立高校教頭・校長に着任。30 年以上に渡り教育実践の開発・研究をライフワークとする。平成 21 年度より開智高等学校の校長を 2 年間務めて大学進学実績をさらに大躍進させ、23 年度より開智未来中学・高等学校の校長に着任。哲学の授業をはじめ教育活動の研究・開発・実践を通じ、生徒を伸ばす取り組みが全国から高く評価されている。「人間が育つから学力が伸びる。学力が伸びるから人間が育つ。」という哲学のもと、小中学生・保護者・教育関係者を対象に「学びのサプリ」を実施。「月刊高校教育」（学事出版）にて「校長サプリⅢ 管理職の哲学ノート」連載中。

導入

- どうすれば子どもの頭が良くなるか、「学び」について長年研究し、それを「学びのサプリ」としてまとめてきた。開智未来中学・高等学校の教育は「学びのサプリ」を基に行っている。
- 本校では、全校生徒を前に校長が哲学の授業を行っている。生徒には徹底してメモの作り方を指導している。可能な限り早く、きれいな字でメモを取ること、タイトルを青字で囲むこと、大切な言葉やキーワードを赤字で囲み「もぎ取る」こと等を身につけることで、今何をしているのかを意識させ、インプット・アウトプットのトレーニングになる。
- 頷きながら人の話を聞くことは、心を開いて聞くことに通じる。納得できないことでも一度頷いて受け止め、どこが自分の考えと違うのかを考えることも学習になる。

資料に沿って説明

1. 私学の管理職の使命

- 公立学校には転勤があるが、私学には異動がなく、その学校で骨を埋める覚悟が必要となる。覚悟がないところに本物の教育はできない。
- どんな嫌な教員でも好きにならなければいけない。最後は腹を割って話すこと。
- 学校がつぶれればそれは管理職の責任であり、管理職は学校経営のためにありとあらゆる努力と知恵を尽くさねばならない。
- 私学には理念がある。管理職は、常に学校の理念を意識し、全ての教職員に共有させる必要がある。理念を共有できない人はやめてもらう。
- 理念は学校全体のもの、信念は個人のもの。学校の理念と個人の信念とをうまくつなげられればベスト。
- 校長は、理念を持って決断することが求められる。そのポイントは、決断の手順とタイミングで、正しい情報を確保し、周りが納得できるよう、考えを尽くして、早すぎず遅すぎないタイミングで決断すること。

→【演習 1：学校を理解する】を実施

2. 教頭の仕事・・・最も多忙で多くお仕事をしているから、最も学校を知るものである。
3. 教頭の役割

- 教頭の役割は、校長を支えること。そのためには、校長の立場を理解し、学校の課題を見つめ校長と教員をつなぐこと、校長を助けることができるミドルリーダーを育てること、生徒や学校の状況を正しく校長に伝えることが必要。そして校長へと成長することも教頭の役割である。
- 相手との関係がうまくいかない場合は、相手の長所を探し、それを良いキーワードとして3つ書いて暗唱し、常にそこを意識することで良い見方が生まれてくる。

→【演習2：校長を支える】を実施

4. 教頭に求められる資質

→【演習3：学校の課題を見つめ、校長と教員をつなぐ】を実施

- 「責任をとる」とは、常に心配し続けることである。
- 心配のカテゴリーは「生徒、教員、教育、生徒募集、予算」の5つに分類される。
- これらを定型化、課題化したら、その解決法を自分ではやらず誰かにやらせ黙って見ている。
- 心配事に正面から立ち向かい課題に変換することを、能動的心配と定義している。

→【演習4：学校のビジョンを持つ】を実施

- 私学は経営体である。経営とは、一般に、商品を開発・製造し、商品品質の向上を図り、宣伝・販売し、顧客を満足させ、社会貢献を図り、利益を上げ商品に反映するサイクルだと捉える。ビジョンを持って社会に貢献する姿勢が求められる。
- 学校経営においても、徹底的にこだわった商品を作るという考えで進めてきた。商品を作るのには材料（リソース）が必要。学力を高めるための工夫や、生徒募集のためのプログラムなどが学校のリソースとなる。

→上記説明後、どのような学校を作るかビジョンを考え、その実現のため、学校にどのようなリソースがあり、それをどのように使って教育活動を行うかを考え書き出し、3人から4人のグループで互いに発表。

- 開智未来の商品
 - ① 「未来スマイル」・・・笑い方を教えている。人間関係がよくなり、人の話が良く入ってくることで頭がよくなる。
 - ② 「学びの朝アカデミア」・・・使わなくなった300人が入る武道場を自習室に改装し、ルールを徹底（音を立てない当）学習する（放課後も実施）。
 - ③ 「教員の自己プロデュース」・・・教員一人ひとりが、今勉強していることを学校のホームページ上で公表している。管理職は、教員の良い能力を発揮できる環境（ステージ）を用意しなければならない。

※ 現在3つの新商品を開発中

- 商品開発は毎年行い、同じことはやらない。
- 毎年10人の教員を採用する。選ぶ余地はなくだれでも良い。
- 私学の課題は、自校の教員の中から教頭、校長を育てていくことだと考えている。
- 管理職に大切なことは、健康で体力があること、人に元気を与えることができること。

以上